

## 第 400 回記念液体クロマトグラフィー研究懇談会

**主催** (公社) 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー(LC)研究懇談会

**後援** (公社) 日本薬学会 (申請中)、(公社) 日本化学会、(公社) 日本農芸化学会、(公社) 日本分析化学会、LC シニアクラブ

**期日** 2024 年 10 月 23 日 (水) 9:00~17:00

**会場** 機械振興会館・研修-1 会議室 (定員 120 名、B3 階) [東京都港区芝公園 3-5-8、TEL(03)3434-8211(代表)]

**交通** ①東京メトロ日比谷線「神谷町駅」下車、徒歩 8 分、②都営地下鉄三田線「御成門駅」下車、徒歩 8 分、③都営地下鉄大江戸線「赤羽橋駅」下車、徒歩 10 分、④都営地下

鉄浅草線・大江戸線「大門駅」下車、徒歩 10 分、⑤JR 山手線・京浜東北線「浜松町駅」下車、徒歩 15 分

**開催趣旨** 液体クロマトグラフィー (LC) 研究懇談会は 1974 年に創設され、今年の 12 月 3 日に 50 周年記念祝賀会を開催します。この間、本会は最新の技術情報を発信・紹介する事により、日本における HPLC と LC/MS の発展と普及に尽くして参りました。振り返りますと、1994 年に第 100 回例会、2006 年に第 200 回例会、2016 年に第 300 回例会を其其開催し、本日第 400 回例会を迎えます。この 50 年間における科学技術の進歩のスピードは文字通り日進月歩であり、HPLC、LC/MS とその周辺の進歩についても例外では有りません。そこで、節目となる今回の例会で我が国における HPLC の発展の道筋を辿ると共に、HPLC 分析のコア技術の最前線を紹介し、更なる発展の為の指針にしたいと希望します。又、午前中には LC 研究懇談会の将来を担う若手・中堅役員の抱負を伺い、参加者が抱える疑問・質問等にお答えする相談会も例会に先立って開催しますので、奮って穂参加下さい。なお、参加者には本例会の講演要旨類をも掲載した「LC 研究懇談会第 400 回記念誌」を贈呈します。

### 第 1 部 若手・中堅、物申す (9:00~10:30)

パネリスト:

1. ジーエルサイエンスとしてできること (ジーエルサイエンス) 太田茂徳
2. ユーザー視点での LC 分析の現状と将来の展望 (花王) 奥田愛未
3. AI による分析業務の未来展望 (日本食品検査) 橘田 規
4. 高性能カラムへのチャレンジ (CERI) 坂牧 寛
5. LC、LC-MS 分野に於けるコミュニティーの活用 (日本ウォーターズ) 島崎裕紀
6. 何を測るか (島津製作所) 寺田英敏

## 第2部 何でも相談会 (10:30~12:00)

①超純水：石井直恵（メルク）、②標準物質：川口 研（産総研）、③逆相：坂牧 寛（CERI）、④サイズ排除：伊藤誠治（東ソー）、⑤キラル分離：西岡亮太（LC シニアクラブ）、⑥分取・精製：寺田明孝（日本分光）、⑦LC/MS：高橋 豊（エムエスソリューションズ）、⑧LC-ICP：市川進矢（フジクラ）、⑨検出器：清水克敏（日立ハイテクサイエンス）、⑩食品分析：神山和夫（ハウス食品グループ本社）、⑪前処理器材：島崎裕紀（日本ウォーターズ）、⑫DART-MS：山本敏人（日本電子）、⑬その他何でも：寺田英敏（島津製作所）  
休憩（12:00~12:45）

## 第3部 講演会「HPLCとLC/MS～日本の実力と将来」(12:45~17:00)

### 1. 講演主題概説（オーガナイザー）(12:45~12:50)

（東京理科大学）中村 洋（LC マイスター、LC/MS マイスター）

### 2. 斯界の発展にLC研究懇談会が果たした役割(12:50~13:20)

（東京理科大学）中村 洋（LC マイスター、LC/MS マイスター）

### 3. HPLC、LC/MSにおける試料前処理技術の進歩と最前線(13:20~13:50)

（一般社団法人臨床検査基準測定機構）岡橋美貴子（LC 分析士三段）

### 4. HPLC、UHPLCにおける分離技術の進歩と最前線(13:50~14:20)

（LC シニアクラブ）熊谷浩樹（LC 分析士四段、LC/MS 分析士二段）

### 5. キラル分離技術の進歩と最前線(14:20~14:50)

（LC シニアクラブ）西岡亮太（LC 分析士四段）

休憩（14:50~15:00）

### 6. HPLC、UHPLCにおける検出技術の進歩と最前線(15:00~15:30)

（株）島津総合サービス）三上博久（LC マイスター）

### 7. MS、M/MSにおける技術の進歩と最前線(15:30~16:00)

（エムエス・ソリューションズ株）高橋 豊（LC 分析士二段、LC/MS 分析士五段）

### 8. LC/MSにおける進歩と最前線(16:00~16:30)

（株）東レリサーチセンター）竹澤正明（LC/MS マイスター）

### 9. PFAS分析の進歩と最前線(16:30~17:00)

（栗田工業株）榎本幹司（LC 分析士三段、LC/MS 分析士三段）

## 第4部 情報交換会(17:30~19:30)

情報交換会では、本研究懇談会の発展と運営に尽力された方々を特別表彰し、感謝の意を表したいと思います。

第1部～第3部参加費 ①LC研究懇談会・個人会員、学生：2,000円、②LC研究懇談会・団体会員：3,000円、③後援学会・個人会員：4,000円、④後援学会・団体会員：5,000円、そ

の他：6,000 円。参加申込締切後の受付は出来ませんので、ご了承下さい。

**第 4 部参加費** 講演終了後、近隣の店で講師を囲み情報交換会を開催します（会費 5,000 円）。参加申込締切後のご参加は出来ませんので、ご了承下さい。

**申込締切日** 10 月 15 日（火）（入金締切時刻：15 時まで）

**申込方法**（対面方式のみ。Web 参加は有りません）

1. 参加希望者は、下記申込先にアクセスし、氏名、勤務先（電話番号）、LC 会員：協賛学会会員・その他の別及び情報交換会参加の有無を明記の上、お申込み下さい。なお、参加者名と振込者名が違う場合は、参加申込書の連絡事項欄に振込者名を明記して下さい。
2. お申込みが完了した場合には、登録されたアドレス欄に「第 400 回液体クロマトグラフィー研究懇談会申込み受付（自動返信）」のメールが届きます。メールが届かない場合は、①入力したご自分のアドレスに間違いがないか、②迷惑メールフォルダーをご確認の上、世話人までお問い合わせ下さい。
3. 申込受付メールを受領後、必ず期限内に参加費の納入を行って下さい。期限内に参加費納入が確認出来ない場合、参加申込みを無効としますので、十分ご注意下さい。なお、一旦納入された参加費は、返金致しません。なお、請求書の発行は致しておりません。

**液体クロマトグラフィー研究懇談会（例会）参加費送金時のご注意**

例会参加費、情報交換会費を送金される場合、下記を禁止しておりますので、ご理解のほど宜しくお願い致します。

1. 複数例会の参加費の同時振込（→例会ごとに振り込んで下さい）
2. 複数参加者の参加費の同時振込（→参加者ごとに振り込んで下さい）
3. 年会費や他の費用との合算振込（→費目ごとに振り込んでください）

**申込先** <https://forms.gle/azcWv52JqhNripru7>

**（学生申込者は、所属欄に大学名、学部、学年を記載）**

**銀行送金先** りそな銀行 五反田支店（普通）1754341 口座名 シャ）ニホンブンセキカ  
ガクカイ [公益社団法人 日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会]

**問合先** （公社）日本分析化学会・液体クロマトグラフィー研究懇談会

[世話人：東京理科大学 中村 洋 E-mail: nakamura@jsac.or.jp]